



残暑とも言い難い暑さが続きましたが、先週に入ってようやく運動場を渡る風に秋を感じるようになりました。先日は、学習参観・懇談会にご参加いただきありがとうございました。ここからさらに、教職員一同、子どもたちと共に、一人ひとりの成長に向けて取り組んでまいります。



### ○ 身につけた力を使って伸びる

2学期の始業式では「自分の力を使うことで、どんどん伸ばそう」という話をしました。「子どもたちは行事で育つ」とよく言われる通り、10月の運動会をはじめ、行事の充実する2学期は成長の時です。

教員は、各行事や取組みごとに全校・学年で目標を立てて活動するように指導しますので、「みんなの目標、それに向けての自分の目標」という意識はその子なりにもてる流れになっています。また、右の図のように文化系、体育系とメリハリのある行事計画は学期全体を通して「今はどこに向けて何をやる時なのか」が分かりやすくなっています。



1時間ごとの学習内容を考える際には、目標達成時に仲間と努力を認め合って喜び、「楽しかった」「成長できた」と実感できるゴールイメージを基に計画を立てます。子どもたちが行事や取組みを終えた時に、その次に向けて、期待感や意欲がもてるように工夫しています。

### ○ 自分の力を発揮して、仲間と学び合う



6年生の演技の後、ここから先の心構えについての話を、集中して聞く5年生。

左の写真は、5・6年生 組体操の、初めての練習での一場面です。6年生が5年生に向けて、昨年の組体操1曲目の演技を披露しています。1年前を鮮やかに思い出させる真剣で堂々とした動きは素晴らしく、5年生も引き込まれるように見えました。「いよいよ自分の番だ」という思いが、その子のもてる力をさらに引き出します。

演技を終えた6年生は、緊張がほぐれた後に自然と笑顔になり、繋がれた力をきちんと自分のものにしていく頼もしさがありました。ここから始まる練習が、子どもたちをさらに成長させてくれることを感じられた一幕でした。このように全学年が、日々様々な形で学び合っています。

### ○ 「友だちのためになること」をしよう

始業式の講話では、最後に「身につけた力は、自分のためはもちろん、『友だちのためになること』も意識して使っていこう」と伝えています。活動が幅広くなればなるほど、自分のことでも仲間のことでも思うようにいかず壁にぶつかる場面が出てきます。ご家庭にて、お子さまの様子など何か気になることがありましたら、ご遠慮なく学校までご相談ください。